

対象国の条件 : なし

研修コース番号 : 201984921-J002

案件番号 : 201984921

主分野課題 : 農業開発/その他農業開発

副分野課題 :

使用言語 : 英語

**案件概要**

植物遺伝資源・生物多様性の保全及び持続可能な利用の促進を目指し、遺伝資源の保全、探査、収集、特徴の把握、評価、資料の作成、遺伝資源の拡充、種子の増殖（植物の育種等）などに関するノウハウ・技術習得を目的とする研修。本コースは、遺伝資源に関する研究者を対象とし、研究室での個別実習が含まれる。植物遺伝資源に保全や持続可能な利用等のノウハウ・技術・情報などを対象とする。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**

食料および農業のための持続可能な植物遺伝資源の保全および利用にかかる人材を育成する。

**【成果】**

1. 自国および所属組織の現状・課題を説明できる。
2. 植物遺伝資源保全および利用に係る現在の動向を把握し、自国活動の位置づけを説明できる。
3. 植物遺伝資源分野の総合的知識および関連技術を習得する。
4. 習得知識、実験手法の帰国後の活用方法に関する報告資料が作成される。

**【対象組織】**

食料および農業のための植物遺伝資源に係る国立ジーンバンクや国立研究機関の職員

**【対象人材】**

1. 大学卒業業者又は同等の資格を有する者で、修士の学位を有する者が望ましい。
2. 植物遺伝資源の研究に従事し、当該業務に5年以上の経験を有する者。
3. 研究を行う上で十分な英語能力を有する者

**内 容**

- (1-1) カントリーレポートの作成・発表
- (2-1) 植物遺伝資源を取り巻く国際的な情勢
- (2-2) 植物遺伝資源の経済価値および知的財産権
- (3-1) 植物遺伝資源の探索・収集・評価・保存・増殖手法
- (3-2) 種子保存システムの管理手法（パスポートデータ等のデータベース管理含む）
- (3-3) 日本における育種への活用と成果事例
- (4-1) アクションプランの作成・発表

本邦研修期間

2019/9/1～2019/10/9

担当課題部

農村開発部

所管国内機関

JICA筑波（研修業務）

関係省庁

実施年度

2018～2020

主要協力機関

農研機構 遺伝資源センター

特記事項  
及び  
ホームページ

農研機構 遺伝資源センター  
<http://www.naro.affrc.go.jp/ngrc/>